

(9) 中心市街地活性化の主な事業

福島を中心市街地活性化に向け、官民協働で各事業を展開し、互いに連携させることでまちの活性化を図っていく。

上町地区暮らし・にぎわい再生事業（都市機能立地支援事業）

当地区は周辺に福島県庁や福島警察署などの公共施設を始め、銀行や小売店が立ち並ぶ商業地域となっているが、商業施設や病院、バスターミナル等の移転により、空き店舗・低未利用地が増加しており商店街の衰退化がみられる。また、大原総合病院は、中心市街地内にある総合病院として地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。

本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まちなか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

構造・階数：S造（免震構造）
地上10階建て
施設規模等：延床面積 約26,000㎡
病床数：353床
完成目標：平成30年度



早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業

当地区は中心部の南側に位置し、県庁・こむこむ館などと近接し、一番丁商店街として小売店や飲食店が立ち並んでいる。また、古くから住宅がある一方、近年はマンションが多く建設されるなど世帯数の多い地域であるが、住民の高齢化や老朽化した店舗併用住宅があり、空き家・空き店舗または解体され駐車場になるなど低未利用地の増加が見られる。

本事業により、中心市街地での医療並びに救急医療の充実や介護福祉の充実を図るとともに、雇用の創出・高齢者に対する居住環境の向上につながり、賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

構造・階数：RC造
地上14階建て
施設規模等：延床面積 約14,304㎡
分譲住宅 45戸
立体駐車場 200台
店舗、有料老人ホーム等
完成目標：平成29年度



(9) 中心市街地活性化の主な事業

福島を中心市街地活性化に向け、官民協働で各事業を展開し、互いに連携させることでまちの活性化を図っていく。

上町地区暮らし・にぎわい再生事業（都市機能立地支援事業）

当地区は周辺に福島県庁や福島警察署などの公共施設を始め、銀行や小売店が立ち並ぶ商業地域となっているが、商業施設や病院、バスターミナル等の移転により、空き店舗・低未利用地が増加しており商店街の衰退化がみられる。また、大原総合病院は、中心市街地内にある総合病院として地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。

本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まちなか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

構造・階数：S造（免震構造）
地上10階建て
施設規模等：延床面積 約26,000㎡
病床数：350床
完成目標：平成29年度



早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業

当地区は中心部の南側に位置し、県庁・こむこむ館などと近接し、一番丁商店街として小売店や飲食店が立ち並んでいる。また、古くから住宅がある一方、近年はマンションが多く建設されるなど世帯数の多い地域であるが、住民の高齢化や老朽化した店舗併用住宅があり、空き家・空き店舗または解体され駐車場になるなど低未利用地の増加が見られる。

本事業により、中心市街地での医療並びに救急医療の充実や介護福祉の充実を図るとともに、雇用の創出・高齢者に対する居住環境の向上につながり、賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

構造・階数：RC造
地上14階建て
施設規模等：延床面積 約14,304㎡
分譲住宅 44戸
立体駐車場 200台
店舗、有料老人ホーム等
完成目標：平成28年度



腰浜町町庭坂線道路事業

本市の内環状道路に位置付けられる都市計画道路の太平寺岡部線に接続し、福島駅東地域における東西方向交通の流動強化を図る。

また、自転車の安全な走行環境を整備するため、歩道と並列する自転車道を整備することで、回遊性の向上に寄与する事業である。

【整備概要】1工区

整備延長：L=366m、W=25m

第2工区：L=101m、W=20m

完成目標：平成27年度



栄町地区商業施設整備事業

(略)

福島駅前通りリニューアル整備事業（修景まちづくり事業）

駅前通りでは、アーケードの老朽化により安全面の問題や来街者・観光客に暗いイメージを抱かせているため、歩行者最優先の「笑顔と賑わい」を育むシンボルストリートを目指し、安全・快適でゆとりのある人に優しい歩行環境の形成と、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいの創出を目指していく。

【整備概要】

整備内容：アーケード撤去、ファサード整備

整備区間：L=265m

完成目標：平成30年度



腰浜町町庭坂線道路事業

本市の内環状道路に位置付けられる都市計画道路の太平寺岡部線に接続し、福島駅東地域における東西方向交通の流動強化を図る。

また、自転車の安全な走行環境を整備するため、歩道と並列する自転車道を整備することで、回遊性の向上に寄与する事業である。

【整備概要】1工区

整備延長：L=366m、W=25m

第2工区：L=101m、W=20m

完成目標：平成27年度



栄町地区商業施設整備事業

(略)

福島駅前通りリニューアル整備事業（修景まちづくり事業）

駅前通りでは、アーケードの老朽化により安全面の問題や来街者・観光客に暗いイメージを抱かせているため、歩行者最優先の「笑顔と賑わい」を育むシンボルストリートを目指し、安全・快適でゆとりのある人に優しい歩行環境の形成と、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいの創出を目指していく。

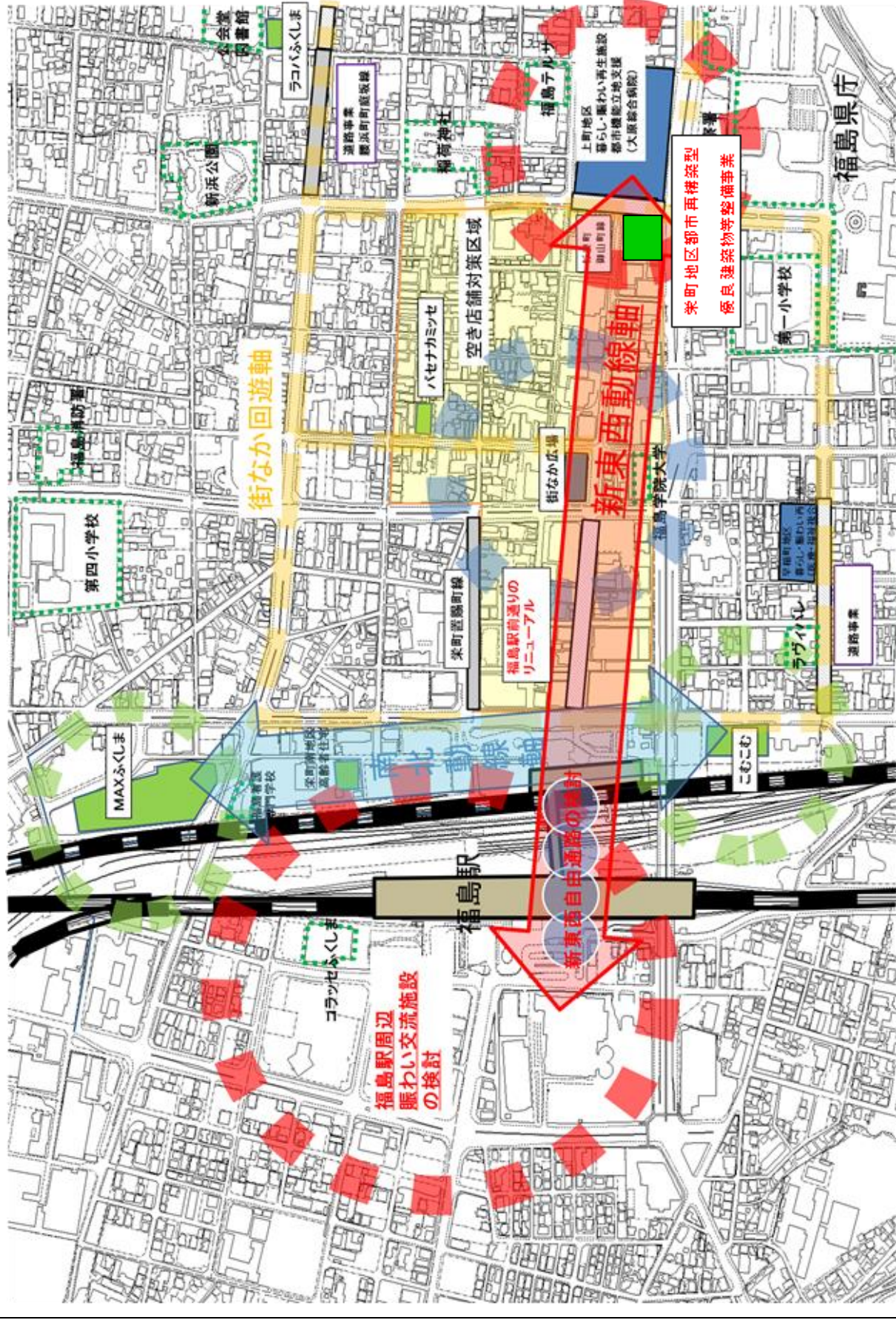
【整備概要】

整備内容：アーケード撤去、ファサード整備

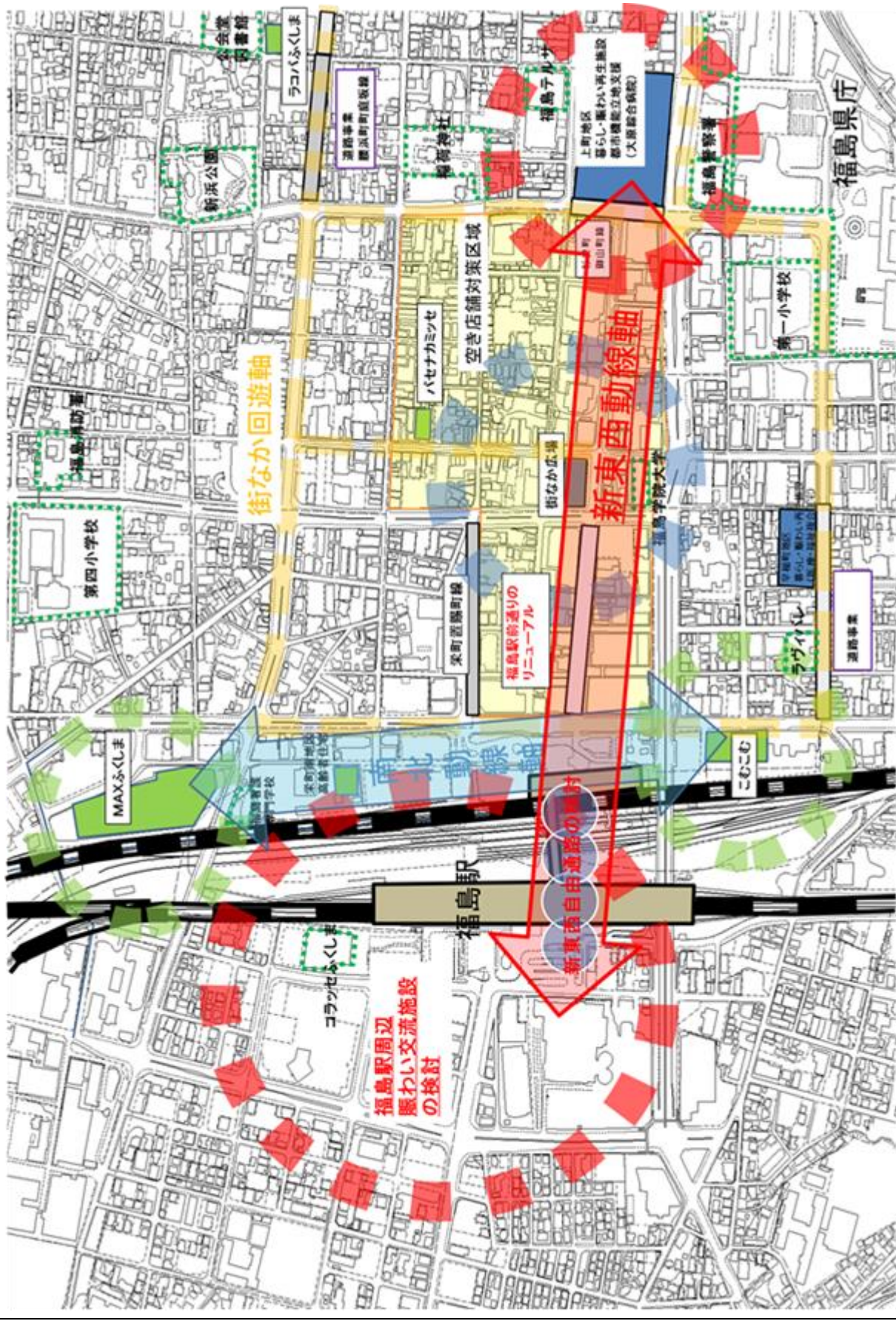
整備区間：L=265m

完成目標：平成29年度

〈福島市中心部（コア）の回遊イメージ図〉



〈福島市中心部（コア）の回遊イメージ図〉



4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

- [1] 略
 [2] 具体的事業の内容
 (1) 略
 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業


事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 1 腰浜町町庭坂線道路事業 内容 整備延長L=189m W=25m 実施時期 平成18年度～ 平成 29 年度	福島市	本市の内環状道路に位置付けられる都市計画道路の太平寺岡部線に接続し、福島駅東地域における東西方向交通の流動強化を図る。 また、自転車の安全な走行環境を整備するため、歩道と並列する自転車道を整備することで、回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))) 実施時期 平成27年度	
 <p>イメージパース</p>				
事業名 2 高質空間形成施設・腰浜町町庭坂線 内容 植栽・緑化施設等整備 実施時期 平成26年度～ 平成 29 年度	福島市	緑化施設等により街なか景観に配慮し、アメニティ環境の向上を図ることで回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))) 実施時期 平成 27 年度	

- (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 3 杉妻町早稲町線	福島市	福島駅南地区で未整備区間となっている本路線を整備することにより、街	支援措置 社会資本整備総合	

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

- [1] 略
 [2] 具体的事業の内容
 (1) 略
 (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 1 腰浜町町庭坂線道路事業 内容 整備延長L=184m W=25m 実施時期 平成18年度～ 平成 27 年度	福島市	本市の内環状道路に位置付けられる都市計画道路の太平寺岡部線に接続し、福島駅東地域における東西方向交通の流動強化を図る。 また、自転車の安全な走行環境を整備するため、歩道と並列する自転車道を整備することで、回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))) 実施時期 平成27年度	
 <p>イメージパース</p>				
事業名 2 高質空間形成施設・腰浜町町庭坂線 内容 植栽・緑化施設等整備 実施時期 平成26年度～ 平成 27 年度	福島市	緑化施設等により街なか景観に配慮し、アメニティ環境の向上を図ることで回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))) 実施時期 平成 27 年度	

- (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 3 杉妻町早稲町線	福島市	福島駅南地区で未整備区間となっている本路線を整備することにより、街	支援措置 社会資本整備総合	

<p>道路事業 内容 整備延長L=240mW=15m 実施時期 平成27年度～ 平成31年度</p>		<p>なか回遊軸を形成し、市内循環バス路線として医療施設や公共施設等への円滑な交通流動の確保による回遊環境の向上を図る。 また、歩道整備を行うことにより、自転車・歩行者の安全な交通環境が確保され、街なか回遊の向上に寄与する事業である。</p>	<p>交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 平成27年度～ <u>平成28年度</u> 支援措置 <u>防災・安全交付金(道路事業)</u> 実施時期 <u>平成29年度～平成31年度</u></p>		<p>道路事業 内容 整備延長L=240 m W=15 m 実施時期 平成27年度～ 平成31年度</p>		<p>なか回遊軸を形成し、市内循環バス路線として医療施設や公共施設等への円滑な交通流動の確保による回遊環境の向上を図る。 また、歩道整備を行うことにより、自転車・歩行者の安全な交通環境が確保され、街なか回遊の向上に寄与する事業である。</p>	<p>交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 平成27年度～ <u>平成31年度</u></p>	
<p>事業名 4 曾根田町桜木町線道路事業(宮下町工区) 内容 整備延長L=346m W=15m 実施時期 平成23年度～ <u>平成32年度</u></p>	福島市	<p>市役所新庁舎建設に伴い、現在の一方通行による混雑緩和を図り、中心市街地北部における市役所と駅方面とのアクセス強化と回遊性の向上に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 <u>平成25年度～平成27年度</u> 支援措置 <u>防災・安全交付金(道路事業)</u> 実施時期 <u>平成28年度～平成31年度</u></p>		<p>事業名 4 曾根田町桜木町線道路事業(宮下町工区) 内容 整備延長L=346m W=15m 実施時期 平成23年度～ <u>平成29年度</u></p>	福島市	<p>市役所新庁舎建設に伴い、現在の一方通行による混雑緩和を図り、中心市街地北部における市役所と駅方面とのアクセス強化と回遊性の向上に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 平成26年度～<u>平成29年度</u></p>	
<p>事業名 5 太平寺岡部線道路事業(御山町工区) 内容 整備延長L=450m W=25m 実施時期 平成23年度～ <u>平成32年度</u></p>	福島市	<p>中心市街地に流入する通過交通を分散し、渋滞緩和を図るとともに、信夫山地区の文教ゾーンと駅方面とのアクセス強化を図り回遊性向上に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 <u>平成25年度～平成31年度</u></p>		<p>事業名 5 太平寺岡部線道路事業(御山町工区) 内容 整備延長L=450m W=25m 実施時期 平成23年度～ <u>平成29年度</u></p>	福島市	<p>中心市街地に流入する通過交通を分散し、渋滞緩和を図るとともに、信夫山地区の文教ゾーンと駅方面とのアクセス強化を図り回遊性向上に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (道路事業(街路)) 実施時期 <u>平成26年度～平成29年度</u></p>	
<p>事業名 6 上町地区周辺道路整備事業 内容 ・市道杉妻町御山線 整備延長L=110m W=20m ・市道舟場町山下町線</p>	福島市	<p>第一小学校が近郊にあり、通学路として利用されていること、更に今後、大原総合病院が当該沿線に移転する計画があり、来院者の交通集中により交通量が増加することが想定される。このため、円滑な交通処理と快適で安全な歩行空間を確保するため整備するもので、回遊性の向上に寄与する事業</p>	<p>支援措置 防災・安全交付金 (道路事業) 実施時期 平成26年度～<u>平成29年度</u></p>		<p>事業名 6 上町地区周辺道路整備事業 内容 ・市道杉妻町御山線 整備延長L=110m W=20m ・市道舟場町山下町線</p>	福島市	<p>第一小学校が近郊にあり、通学路として利用されていること、更に今後、大原総合病院が当該沿線に移転する計画があり、来院者の交通集中により交通量が増加することが想定される。このため、円滑な交通処理と快適で安全な歩行空間を確保するため整備するもので、回遊性の向上に寄与する事業</p>	<p>支援措置 防災・安全交付金 (道路事業) 実施時期 平成26年度～<u>平成28年度</u></p>	

整備延長L=130m W=9.5m <u>実施時期</u> 平成26年度～ <u>平成29年度</u>		である。			整備延長L=130m W=9.5m <u>実施時期</u> 平成26年度～ <u>平成28年度</u>		である。		
<u>事業名 7</u> 仲間町春日町線 道路事業 <u>内容</u> 整備延長L=180m W=10.8m <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成32年度</u>	福島市	(都)腰浜町町庭坂線と市役所を結ぶ重要な路線であるとともに、第二小学校の通学路に指定されている本路線を整備することにより、都心東地区の交通ネットワーク機能が強化され、周辺道路の混雑緩和、安全な歩行空間が確保されることで、回遊性の向上に寄与する事業である。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成27年度～平成31年度		<u>事業名 7</u> 仲間町春日町線 道路事業 <u>内容</u> 整備延長L=180m W=10.8m <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成31年度</u>	福島市	(都)腰浜町町庭坂線と市役所を結ぶ重要な路線であるとともに、第二小学校の通学路に指定されている本路線を整備することにより、都心東地区の交通ネットワーク機能が強化され、周辺道路の混雑緩和、安全な歩行空間が確保されることで、回遊性の向上に寄与する事業である。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成27年度～平成31年度	
<u>事業名 8</u> 入江町桜木町線道路整備事業 <u>内容</u> 整備延長L=500m W=12m <u>実施時期</u> 平成26年度～ 平成32年度	福島市	国道4号と(都)渡利本内線を結ぶ道路であり、終点付近には、福島交通(株)本社が立地し、日当たり約170台の路線バスが通行する。また、第三小学校が近郊にあり、通学路として利用されていること、更に沿線にある福島競馬場が開催される週末は、多くの入場者が利用し混雑している。今後においても、福島赤十字病院の移転計画があり、更に交通量が増加することが想定される。 このため、円滑な交通処理と快適で安全な歩行空間を確保するため整備するものである。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成26年度～ <u>平成31年度</u>		<u>事業名 8</u> 入江町桜木町線道路整備事業 <u>内容</u> 整備延長L=500m W=12m <u>実施時期</u> 平成26年度～ 平成32年度	福島市	国道4号と(都)渡利本内線を結ぶ道路であり、終点付近には、福島交通(株)本社が立地し、日当たり約170台の路線バスが通行する。また、第三小学校が近郊にあり、通学路として利用されていること、更に沿線にある福島競馬場が開催される週末は、多くの入場者が利用し混雑している。今後においても、福島赤十字病院の移転計画があり、更に交通量が増加することが想定される。 このため、円滑な交通処理と快適で安全な歩行空間を確保するため整備するものである。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成26年度～ <u>平成28年度</u>	
<u>事業名 9</u> 入江町8号線道路整備事業 <u>内容</u> 整備延長L=40m W=15m <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成32年度</u>	福島市	<u>平成31年4月</u> に新病院の開院を予定している福島赤十字病院と国道4号を結ぶ路線である。福島赤十字病院は、福島市内の中核病院として救急医療など、地域医療に密着した病院であり、現在日平均約950人の外来患者が訪れているため、新病院の開院後は、周辺道路に慢性的な渋滞を引き起こし、周辺住民の安全な通行に支障をきたす恐れがある。また、福島競馬場が近隣に立地しており、更に交通量が増加することが考えられる。このため、周辺道路の交通混雑の緩和を図るとともに安全で円滑な通行を確保するため整備するものである。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成31年度</u>		<u>事業名 9</u> 入江町8号線道路整備事業 <u>内容</u> 整備延長L=40m W=15m <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成29年度</u>	福島市	<u>平成30年5月</u> に新病院の開院を予定している福島赤十字病院と国道4号を結ぶ路線である。福島赤十字病院は、福島市内の中核病院として救急医療など、地域医療に密着した病院であり、現在日平均約950人の外来患者が訪れているため、新病院の開院後は、周辺道路に慢性的な渋滞を引き起こし、周辺住民の安全な通行に支障をきたす恐れがある。また、福島競馬場が近隣に立地しており、更に交通量が増加することが考えられる。このため、周辺道路の交通混雑の緩和を図るとともに安全で円滑な通行を確保するため整備するものである。	<u>支援措置</u> 防災・安全交付金 (道路事業) <u>実施時期</u> 平成27年度～ <u>平成29年度</u>	
(3) 略					(3) 略				
(4) 略					(4) 略				

<p>5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項</p> <p>[1] 略</p> <p>[2] 具体的事業の内容</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業</p>					<p>5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項</p> <p>[1] 略</p> <p>[2] 具体的事業の内容</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業</p>				
<p>事業名 14</p> <p>五老内町地区 暮らし・にぎわい 再生事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名 14</p> <p>五老内町地区 暮らし・にぎわい 再生事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名 15</p> <p>早稲町地区 暮らし・にぎわい 再生事業</p> <p>内容 クリニック、透析センター、有料老人ホーム、分譲住宅、店舗、立体駐車場の複合施設整備 RC造、地上14階建 分譲住宅 45戸 有料老人ホーム 46戸</p> <p>実施時期 平成22年度～ 平成 29 年度</p>	<p>(株) グリー ンアカ デミー</p> <p>医療法 人社団 敬愛会</p>	<p>当地区は中心部の南側に位置し、県庁・こむこむ館などと近接し、一番丁商店街として小売店や飲食店が立ち並んでいる。</p> <p>また、古くから住宅がある一方、近年はマンションが多く建設されるなど世帯数の多い地域であるが、住民の高齢化や老朽化した店舗併用住宅があり、空き家・空き店舗または解体され駐車場になるなど低未利用地の増加がみられる。</p> <p>本事業により、中心市街地での医療や福祉の充実を図るとともに、雇用の創出・高齢者に対する居住環境の向上につながり、賑わいの創出に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(早稲町地区))</p> <p>実施時期 平成22年度～平成 29年度</p>	 <p>イメージパース</p>	<p>事業名 15</p> <p>早稲町地区 暮らし・にぎわい 再生事業</p> <p>内容 病院、透析センター、有料老人ホーム、分譲住宅、店舗、立体駐車場の複合施設整備 RC造、地上14階建 分譲住宅 44戸 有料老人ホーム 46戸</p> <p>実施時期 平成22年度～ 平成 28 年度</p>	<p>(株) グリー ンアカ デミー</p>	<p>当地区は中心部の南側に位置し、県庁・こむこむ館などと近接し、一番丁商店街として小売店や飲食店が立ち並んでいる。</p> <p>また、古くから住宅がある一方、近年はマンションが多く建設されるなど世帯数の多い地域であるが、住民の高齢化や老朽化した店舗併用住宅があり、空き家・空き店舗または解体され駐車場になるなど低未利用地の増加がみられる。</p> <p>本事業により、中心市街地での医療や福祉の充実を図るとともに、雇用の創出・高齢者に対する居住環境の向上につながり、賑わいの創出に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(早稲町地区))</p> <p>実施時期 平成22年度～平成 28年度</p>	 <p>イメージパース</p>
<p>事業名 16</p> <p>上町地区 暮らし・にぎわい 再生事業</p> <p>内容 立体駐車場、供給処理施設、外構整備 S造、免震構造 地上10階建 病床数 353床</p> <p>実施時期 平成24年度～ 平成 30 年度</p>	<p>(一財) 大原記念財団</p>	<p>当地区は周辺に福島県庁や福島警察署などの公共施設を始め、銀行や小売店が立ち並ぶ商業地域となっているが、商業施設や病院、バスターミナル等の移転により、空き店舗・低未利用地が増加しており商店街の衰退化がみられる。また、大原総合病院は、中心市街地内にある総合病院として地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。</p> <p>本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まち</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(上町地区))</p> <p>実施時期 平成24年度～平成 30年度</p>	 <p>イメージパース</p>	<p>事業名 16</p> <p>上町地区 暮らし・にぎわい 再生事業</p> <p>内容 立体駐車場、供給処理施設、外構整備 S造、免震構造 地上10階建 病床数 350床</p> <p>実施時期 平成24年度～ 平成 29 年度</p>	<p>(一財) 大原総合病院</p>	<p>当地区は周辺に福島県庁や福島警察署などの公共施設を始め、銀行や小売店が立ち並ぶ商業地域となっているが、商業施設や病院、バスターミナル等の移転により、空き店舗・低未利用地が増加しており商店街の衰退化がみられる。また、大原総合病院は、中心市街地内にある総合病院として地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。</p> <p>本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まち</p>	<p>支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(上町地区))</p> <p>実施時期 平成24年度～平成 29年度</p>	 <p>イメージパース</p>

		なか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。		
事業名 17 霞町地区 暮らし・にぎわい 再生事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名 18 八島町地区暮らし・にぎわい再生事業 内容 医療施設の整備 S造、免震構造 地上7階建 病床数 288床 実施時期 平成29年度～ 平成30年度	福島 赤十字 病院	当地区は周辺に音楽堂や福島競馬場などの公共施設を始め、高校や小学校といった教育施設、また住宅や個人商店が混在している居住地域となっている。計画地の一部は露天駐車場として利用されているが、低未利用地である。また、福島赤十字病院は、県北地域の救急医療施設として、地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。 本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まちなか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(八島町地区)) 実施時期 平成29年度～ 平成30年度	



		なか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。		
事業名 17 霞町地区 暮らし・にぎわい 再生事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 18 八島町地区暮らし・にぎわい再生事業 内容 医療施設の整備 S造、免震構造 地上7階建 病床数 323床 実施時期 平成26年度～ 平成30年度	福島 赤十字 病院	当地区は周辺に音楽堂や福島競馬場などの公共施設を始め、高校や小学校といった教育施設、また住宅や個人商店が混在している居住地域となっている。計画地の一部は露天駐車場として利用されているが、低未利用地である。また、福島赤十字病院は、県北地域の救急医療施設として、地域医療を支えているが、老朽化に加え東日本大震災により被災を受け、早急な建替えが必要な状況となっており、先進医療を導入した拠点病院として期待されている。 本事業は、中心市街地内での新築移転により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化により医療の充実や交流人口の増加など、都市機能の基盤強化を図り、まちなか居住環境の促進と賑わいの創出に寄与する事業である。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業(八島町地区)) 実施時期 平成28年度～ 平成30年度	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 19 上町地区都市機能立地支援事業 内容 医療施設の整備 S造、免震構造 地上10階建 病床数 353床 実施時期 平成27年度～ 平成29年度	(一財) 大原記念財団	中心市街地にある総合病院を拠点となるエリアに新築移転し、医療サービスを持続することで、中心市街地の活力の維持・増進(都市再生)、持続可能な都市構造への再構築の実現を図る。 本事業を実施するにあたり経過措置が設けられており、平成30年度末までに立地適正化計画を策定する必要がある。 新病院への来院者の増加が見込まれ、JR福島駅から上町方面への人の流れの増加により東西の都市軸の形成が期待できるとともに、県庁通り周辺や中心市街地の活性化に寄与する事業である	支援措置 都市機能立地支援事業(上町地区) 実施時期 平成27年度～平成29年度	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 19 上町地区都市機能立地支援事業 内容 医療施設の整備 S造、免震構造 地上10階建 病床数 350床 実施時期 平成27年度～ 平成29年度	(一財) 大原総合病院	中心市街地にある総合病院を拠点となるエリアに新築移転し、医療サービスを持続することで、中心市街地の活力の維持・増進(都市再生)、持続可能な都市構造への再構築の実現を図る。 本事業を実施するにあたり経過措置が設けられており、平成30年度末までに立地適正化計画を策定する必要がある。 新病院への来院者の増加が見込まれ、JR福島駅から上町方面への人の流れの増加により東西の都市軸の形成が期待できるとともに、県庁通り周辺や中心市街地の活性化に寄与する事業である	支援措置 都市機能立地支援事業(上町地区) 実施時期 平成27年度～平成29年度	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業					(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業				
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項	事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 20 文化交流施設整備事業 (花の写真館) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)	事業名 20 文化交流施設整備事業 (花の写真館) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 21 「こむこむ館」運営事業 内容 <u>こむこむ館学習、プラ ネタリウム、イベント ワークショップ、地域 連携事業等の開催</u> 実施時期 平成17年度～		都心南地区に位置し、「子どもの夢」を基本テーマとして市民参加型のプログラム展開による多様な世代の交流拠点であり、中心市街地の賑わいを創出する拠点施設として、隣接するNHK福島放送局と一体的な整備を行い平成17年7月にオープンした。 <u>多くの利用者により</u> 、中心市街地の賑わいの創出に寄与している。年間を通したイベント等を充実させ、交流の場を提供し更なる賑わいの創出に寄与する事業である。 	支援措置 電源立地地域対策 交付金 実施時期 平成17年度～		事業名 21 「こむこむ館」運営事業 内容 <u>青少年の多様な活動支 援、子どもライブラリ ー運営</u> 実施時期 平成17年度～		都心南地区に位置し、「子どもの夢」を基本テーマとして市民参加型のプログラム展開による多様な世代の交流拠点であり、中心市街地の賑わいを創出する拠点施設として、隣接するNHK福島放送局と一体的な整備を行い平成17年7月にオープンした。 <u>施設の年間利用者が30万人を超え</u> 、中心市街地の賑わいの創出に寄与している。年間を通したイベント等を充実させ、交流の場を提供し更なる賑わいの創出に寄与する事業である。 	支援措置 電源立地地域対策 交付金 実施時期 平成17年度～	
事業名 22 福島体育館整備事業 内容 福島体育館の整備 実施時期 平成27年度～ 平成30年度		福島体育館は、昭和39年建築で築50年と施設全体の老朽化が進んでいる。また、東日本大震災の被害により、施設の一部で利用制限が生じ利用者への影響が出ている。利用者の健康増進及びスポーツを通じての地域のコミュニケーションの場として建替え整備することで、交流人口の増加による賑わいの創出に寄与する事業である。	支援措置 <u>学校施設環境改善 交付金</u> 実施時期 平成27年度～平成 30年度		事業名 22 福島体育館整備事業 内容 福島体育館の整備 実施時期 平成27年度～ 平成30年度		福島体育館は、昭和39年建築で築50年と施設全体の老朽化が進んでいる。また、東日本大震災の被害により、施設の一部で利用制限が生じ利用者への影響が出ている。利用者の健康増進及びスポーツを通じての地域のコミュニケーションの場として建替え整備することで、交流人口の増加による賑わいの創出に寄与する事業である。	支援措置 <u>社会体育施設整備 補助金</u> 実施時期 平成27年度～平成 30年度	
事業名 59 <u>栄町地区都市再構築型 優良建築物等整備事業</u> 内容 <u>教育施設の整備 地上7階、地下1階建</u>	福島県 福島市	<u>当地区はJR福島駅から国道13号線 を結ぶ福島市の玄関口となる福島駅前通 りの隣接地であり、中心市街地における 重要な役割を担う都市福利施設として期 待されている。</u> 本事業は、中心市街地内に福島県立医科	支援措置 <u>社会資本整備総合 交付金</u> (<u>優良建築物等整 備事業(栄町地区)</u>)		新規追加				

オープンスペースの整備 実施時期 平成28年度～ 平成32年度		大学の新学部を誘致し、学生等の若者を中心とした交流人口の増加、回遊性の向上等により賑わいの創出を図る。また、建築物周囲を市民交流の場として環境整備を図り、交流拠点を創出する交流人口の増加等と賑わいの創出に寄与する事業である。	実施時期 平成29年度～ 平成30年度	
--	--	--	---------------------------	--

--	--	--	--	--

(4) 国の支援がないその他の事業


事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 23 駅前通り地区 再開発の検討 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 24 駅周辺賑わい交流施設 整備検討会設置 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 25 児童公園周辺整備 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 23 駅前通り地区 再開発の検討 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 24 駅周辺賑わい交流施設 整備検討会設置 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 25 児童公園周辺整備 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

- [1] 略
- [2] 具体的事業等の内容
 - (1) 略
 - (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 28 福島駅前通りリニューアル整備事業 内容 アーケード撤去 ファサード整備 整備区間L=265m 実施時期 平成27年度～ <u>平成28年度</u>	福島駅前通り商店街振興組合 福島駅前通りリニューアル推進会 民間事業者 福島市	駅前通りでは、アーケードの老朽化により安全面の問題や来街者・観光客に暗いイメージを抱かせている。歩行者最優先の“笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートを目指し、快適・安全でゆとりある人に優しい歩行環境の形成と、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいの創出を目指していく。  イメージパース	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))と一体の効果促進事業) 実施時期 平成27年度～ <u>平成28年度</u>	
事業名 29 中心市街地イルミネーション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 30 山車フェスティバル・わらじまつり開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

- [1] 略
- [2] 具体的事業等の内容
 - (1) 略
 - (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 28 福島駅前通りリニューアル整備事業 内容 アーケード撤去 ファサード整備 整備区間L=265m 実施時期 平成27年度～ 平成30年度	福島駅前通り商店街振興組合 福島駅前通りリニューアル推進会 民間事業者 福島市	駅前通りでは、アーケードの老朽化により安全面の問題や来街者・観光客に暗いイメージを抱かせている。歩行者最優先の“笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートを目指し、快適・安全でゆとりある人に優しい歩行環境の形成と、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいの創出を目指していく。	支援措置 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(福島市中心市街地地区(第2期))と一体の効果促進事業) 実施時期 平成27年度～ <u>平成30年度</u>	
事業名 29 中心市街地イルミネーション事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 30 山車フェスティバル・わらじまつり開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

事業名 31 ふくしま花のまち 推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 32 ふくしま街なか イベント情報発信 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 33 街なかにぎわい 創出事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 34 新規創業者等支援 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 35 創業応援利子補給 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 36 福島市男女共生セ ミナー開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 37 栄町地区商業施設 整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

事業名 31 ふくしま花のまち 推進事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 32 ふくしま街なか イベント情報発信 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 33 街なかにぎわい 創出事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 34 新規創業者等支援 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 35 創業応援利子補給 事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 36 福島市男女共生セ ミナー開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 37 栄町地区商業施設 整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

- (2) ②略
- (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 再掲 福島駅前通りリニューアル整備事業 内容 アーケード撤去 ファサード整備 整備区間L=265m 実施時期 平成27年度～ 平成30年度	福島駅前 通り商店 街振興組 合 福島駅前 通りリニ ューアル 推進会 民間事業 者 福島市	駅前通りでは、アーケードの老朽化に より安全面の問題や来街者・観光客に暗 いイメージを抱かせている。歩行者最優 先の“笑顔と賑わい”を育むシンボルス トリートを目指し、快適・安全でゆとり ある人に優しい歩行環境の形成と、沿道 店舗等と道路空間が一体となって賑わい の創出を目指していく。	支援措置 社会資本整備総合 交付金 (優良建築物等整備 事業(栄町地区)) 実施時期 平成29年度～ 平成30年度	



イメージパス

(4) 略

- (2) ②略
- (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

→該当なし

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項

新規追加

(4) 略

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業等の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 51 福島駅周辺自転車 駐車場整備促進 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(3)に移設				
事業名 53 福島市中心市街地 地区事業効果分析 <u>内容</u> 歩行者・自転車通行量 調査 調査地点数 9地点 <u>実施時期</u> 平成30年度	福島市	歩行者・自転車通行量の目標を定量化する指標とその数値目標の達成状況等を把握するとともに要因分析を行い、交付金事業の成果を踏まえた今後のまちづくり方策を策定していく。	<u>支援措置</u> 社会資本整備総合 交付金 (都市再生整備計画 事業(福島市中心市 街地地区(第2期)) と一体の効果促進 事業) <u>実施時期</u> 平成30年度	

(2) ②略

(3) 中心市街地の活性化に関するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 54 自転車利用環境 総合整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 略

[2] 具体的事業等の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 51 福島駅周辺自転車 駐車場整備促進 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名 52 中心市街地活性化支援 バス社会実験 <u>内容</u> 周遊バスの社会実験 <u>実施時期</u> 平成27年度～ 平成29年度	福島市	平成24年度からの第1期計画においては、市内循環線を中心とした中心市街地における医療施設や公共施設へのアクセス向上を含めた路線について再検討を行っている。 この検討結果を受けて、第2期計画においては、社会実験により周辺部に位置する人口集中地区からの中心市街地へのアクセス性の向上についての検討を行い、中心市街地への集客数を増加させることにより活性化に寄与する事業である。	<u>支援措置</u> 社会資本整備総合 交付金 (都市再生整備計画 事業(福島市中心市 街地地区(第2期)) と一体の効果促進 事業) <u>実施時期</u> 平成27年度～ 平成29年度	
事業名 53 福島市中心市街地 地区事業効果分析 <u>内容</u> 歩行者・自転車通行量 調査 調査地点数 9地点 <u>実施時期</u> 平成31年度	福島市	歩行者・自転車通行量の目標を定量化する指標とその数値目標の達成状況等を把握するとともに要因分析を行い、交付金事業の成果を踏まえた今後のまちづくり方策を策定していく。	<u>支援措置</u> 社会資本整備総合 交付金 (都市再生整備計画 事業(福島市中心市 街地地区(第2期)) と一体の効果促進 事業) <u>実施時期</u> 平成31年度	

(2) ②略

(3) 中心市街地の活性化に関するその他の支援措置に関する事業

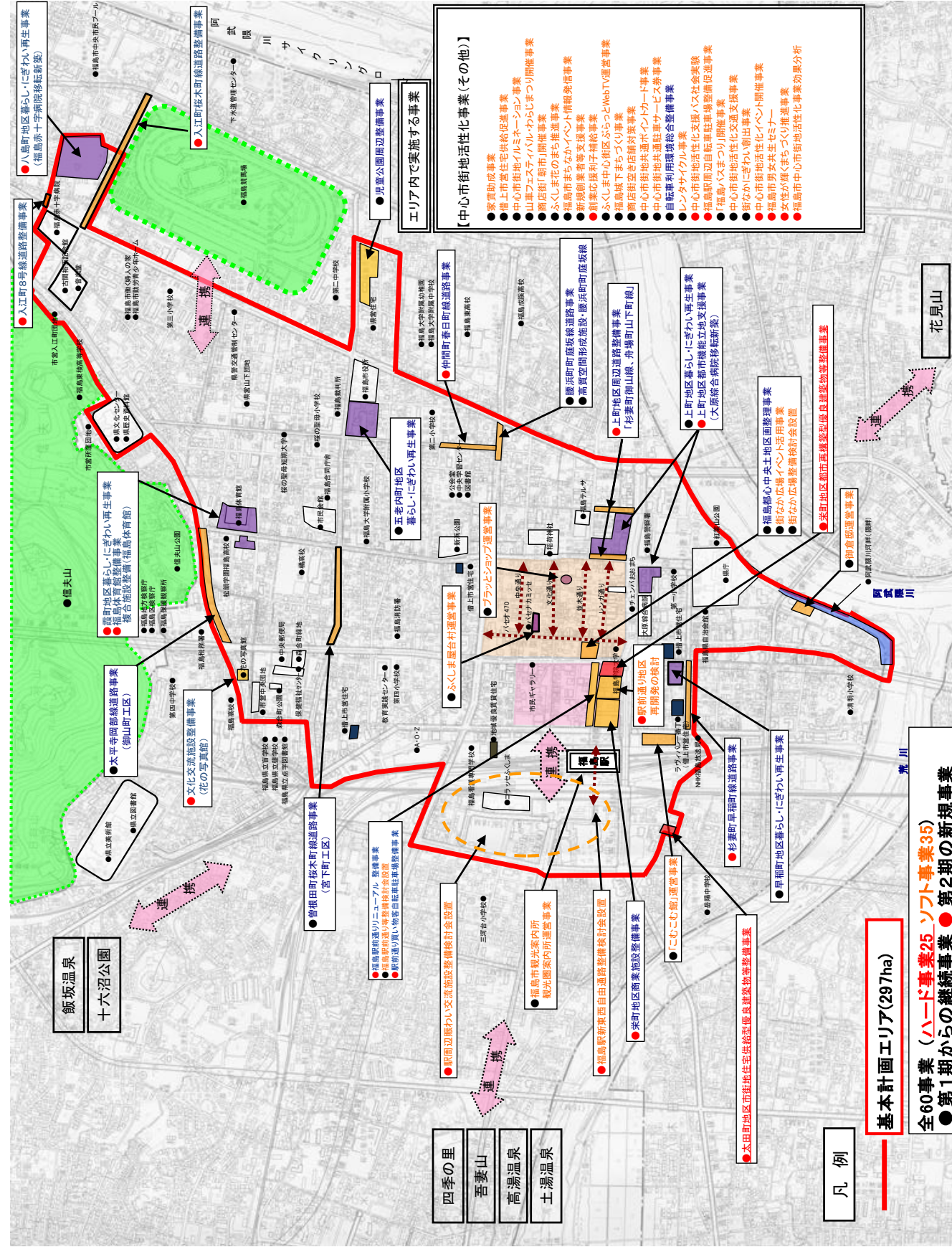
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 54 自転車利用環境 総合整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

<p>事業名 52 中心市街地活性化支援 バス社会実験 内容 周遊バスの社会実験 実施時期 平成27年度～ <u>平成33年度</u></p>	<p>福島市</p>	<p>平成24年度からの第1期計画においては、市内循環線を中心とした中心市街地における医療施設や公共施設へのアクセス向上を含めた路線について再検討を行っている。 この検討結果を受けて、第2期計画においては、社会実験により周辺部に位置する人口集中地区からの中心市街地へのアクセス性の向上についての検討を行い、中心市街地への集客数を増加させることにより活性化に寄与する事業である。</p>	<p>支援措置 <u>地方創生推進交付金</u> 実施時期 <u>平成28年度～</u> <u>平成31年度</u></p>							
---	------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

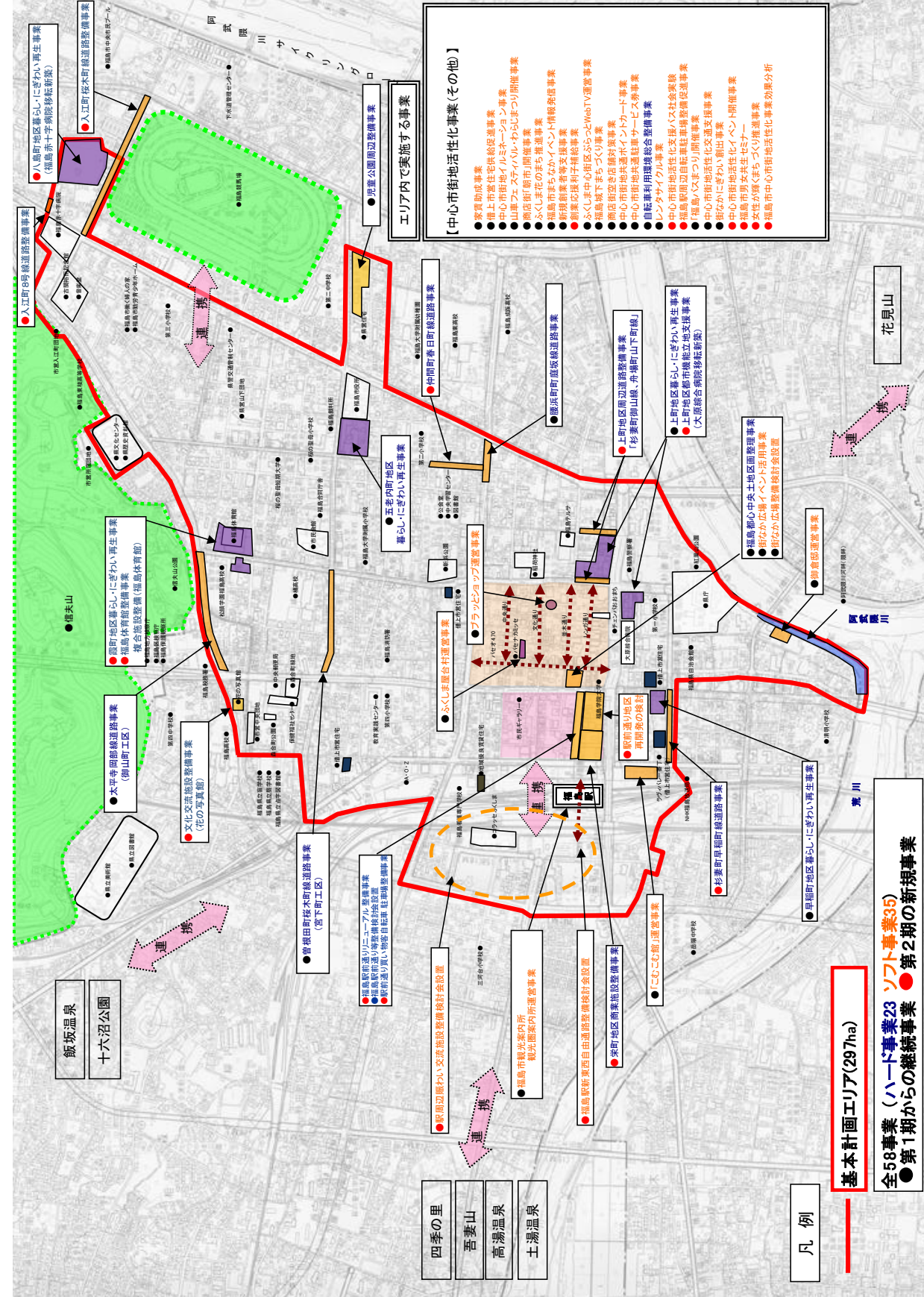
(4) 略

(2)①からの移設

＜4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所＞



＜4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所＞



9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

(1) 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 福島市中心市街地活性化協議会

平成19年10月19日に福島市中心市街地活性化協議会が設立され、以後定期的に運営委員会や全体会を開催し前計画の推進に取り組むとともに、新計画の策定に向けて議論を重ねてきた。

福島市中心市街地活性化協議会構成団体・委員（平成28年度現在）

団体等名	委員		摘要 (構成根拠)
	職	氏名	
<u>福島商工会議所</u>	<u>会頭</u>	<u>渡邊 博美</u>	会長
福島商工会議所	副会頭	後藤 忠久	<u>副会長</u>
(株)福島まちづくりセンター	代表取締役社長	小林 勇一	副会長
福島商工会議所	専務理事	石井 浩	
(株)福島まちづくりセンター	総務部長	大槻 和正	
福島市	商工観光部長	<u>若月 勉</u>	
福島市	都市政策部長	<u>橋本 隆</u>	
福島市商店街連合会	会長	小河日出男	<u>監事</u>
福島駅前通り商店街振興組合	理事長	芦田 一	
パセオ協同組合	理事長	小関 庄兵	
(株)中合	代表取締役社長	<u>黒崎 浩一</u>	
仙台ターミナルビル(株)エスパル福島店	<u>店長</u>	<u>森 明彦</u>	
東日本旅客鉄道(株)福島駅	<u>福島駅長</u>	<u>佐藤 豪一</u>	
福島交通(株)	<u>執行役員福島支社長</u>	<u>茅原 稔</u>	
阿武隈急行(株)	代表取締役専務	<u>安海 好昭</u>	
福島地区ハイヤータクシー協同組合	理事長	西條 勝敏	
<u>(一財)大原記念財団</u>	<u>常務理事</u>	<u>高荒 俊勝</u>	
(株)東邦銀行	取締役頭取	北村 清士	
(株)福島銀行	取締役社長	森川 栄治	
福島信用金庫	理事長	樋口 郁雄	
<u>ふくしま未来農業協同組合</u>	<u>福島地区担当常務理事</u>	<u>永澤 信弘</u>	
福島商工会議所 にぎわい・まちづくり委員会	委員長	<u>小河日出男</u>	
〃	副委員長	<u>大沼 健次</u>	
〃	副委員長	<u>黒崎 浩一</u>	
福島商工会議所青年部	会長	<u>加藤 貴之</u>	
福島商工会議所女性会	会長	斎藤 可子	
福島市商店街連合会青年部	会長	<u>椎根 克典</u>	
(公社)福島青年会議所	理事長	<u>高橋 美博</u>	
ふくしま市女性団体連絡協議会	会長	<u>小野 美佐子</u>	
(学)福島学院	<u>理事長</u>	<u>石田みゆき</u>	
ふくしまNPOネットワークセンター	<u>常務理事</u>	<u>菅野 真</u>	<u>監事</u>

9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 略

(1) 略

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 福島市中心市街地活性化協議会

平成19年10月19日に福島市中心市街地活性化協議会が設立され、以後定期的に運営委員会や全体会を開催し前計画の推進に取り組むとともに、新計画の策定に向けて議論を重ねてきた。

福島市中心市街地活性化協議会構成団体・委員（平成26年度現在）

団体等名	委員		摘要 (構成根拠)
	職	氏名	
<u>国立大学法人福島大学共生システム理工学類</u>	<u>名誉教授</u>	<u>鈴木 浩</u>	会長
福島商工会議所	副会頭	後藤 忠久	副会長
(株)福島まちづくりセンター	代表取締役社長	小林 勇一	副会長
福島商工会議所	専務理事	石井 浩	
(株)福島まちづくりセンター	総務部長	大槻 和正	
福島市	商工観光部長	<u>山内 芳夫</u>	
福島市	都市政策部長	<u>佐藤 祐一</u>	
福島市商店街連合会	会長	小河日出男	<u>新規追加</u>
福島駅前通り商店街振興組合	理事長	芦田 一	
パセオ協同組合	理事長	小関 庄兵	
(株)中合	代表取締役社長	<u>藤井 高志</u>	
仙台ターミナルビル(株)エスパル福島店	<u>取締役店長</u>	<u>高梨 善一</u>	
東日本旅客鉄道(株)福島駅	駅長	<u>狩野 安則</u>	
福島交通(株)	<u>代表取締役社長</u>	<u>武藤 泰典</u>	
阿武隈急行(株)	代表取締役専務	<u>武田 芳則</u>	
福島地区ハイヤータクシー協同組合	理事長	西條 勝敏	
<u>(一財)大原綜合病院</u>	<u>理事長</u>	<u>平子 健</u>	
(株)東邦銀行	取締役頭取	北村 清士	
(株)福島銀行	取締役社長	森川 栄治	
福島信用金庫	理事長	樋口 郁雄	
<u>新ふくしま農業協同組合</u>	<u>代表理事組合長</u>	<u>菅野 孝志</u>	
福島商工会議所 にぎわい・まちづくり委員会	委員長	<u>藤井 高志</u>	
〃	副委員長	<u>小河日出男</u>	
〃	副委員長	<u>大沼 健次</u>	
福島商工会議所青年部	会長	<u>山岸 竜大</u>	
福島商工会議所女性会	会長	斎藤 可子	
福島市商店街連合会青年部	会長	<u>富田 光一</u>	
(公社)福島青年会議所	理事長	<u>吉川 隆一</u>	
ふくしま市女性団体連絡協議会	会長	<u>阿部勢津子</u>	
(学)福島学院	<u>学長</u>	<u>玉井 寛</u>	
ふくしまNPOネットワークセンター	<u>副理事長</u>	<u>佐藤 和子</u>	<u>新規追加</u>

中央東地区自治振興協議会	会長	<u>小野 國武</u>	
中央西地区自治振興協議会	会長	齋藤 美雄	
福島市老人クラブ連合会	会長	<u>本田 忠吉</u>	
(福) 福島市社会福祉協議会	常務理事	<u>齋藤 昌明</u>	

(2) 協議会開催状況

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

< 福島市中心市街地活性化協議会 >

回数	開催日時	場所	内容
第8回 (略)	(略)	(略)	(略)
第9回 (略)	(略)	(略)	(略)
第10回 (略)	(略)	(略)	(略)
第11回 (略)	(略)	(略)	(略)
第12回 (略)	(略)	(略)	(略)
第13回 (略)	(略)	(略)	(略)
第14回 (略)	(略)	(略)	(略)
第15回 (略)	(略)	(略)	(略)
<u>第16回</u>	<u>平成27年6月29日</u>	<u>コラッセふくしま 5階特別会議室</u>	<u>[議題]</u> <u>役員の選任について</u> <u>規約の一部改正について</u> <u>平成26年度事業報告について</u> <u>平成27年度事業計画(案)について</u> <u>[説明]</u> <u>福島駅周辺まちづくり計画検討調査について</u> <u>福島駅前通りリニューアル整備計画について</u> <u>大原総合病院移転リニューアル計画の現状について</u> <u>経済産業省の支援施策 中心市街地活性化及び商業支援について</u>
<u>第17回</u>	<u>平成28年5月31日</u>	<u>コラッセふくしま 8階会議室</u>	<u>[報告]</u> <u>第2期福島市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップ報告について</u> <u>[議題]</u> <u>平成27年度事業報告について</u> <u>平成28年度事業計画(案)について</u> <u>[説明]</u> <u>福島駅前通りリニューアル整備の現状について</u> <u>保健医療従事者の新たな養成施設に係る基本計画の概要について</u> <u>立地適正化計画について</u> <u>大原総合病院移転リニューアル整備の現状について</u> <u>福島市コンベンション基礎調査について</u> <u>商店街・まちなかインバウンド促進支援事業について</u>
<u>第18回</u>	<u>平成28年12月21日</u>	<u>コラッセふくしま 5階特別会議室</u>	<u>[議題]</u> <u>第2期中心市街地活性化基本計画の変更について</u> <u>変更スケジュールについて</u> <u>変更に関する意見書について</u> <u>[説明]</u>

中央東地区自治振興協議会	会長	<u>遠藤 一</u>	
中央西地区自治振興協議会	会長	齋藤 美雄	
福島市老人クラブ連合会	会長	<u>吉田 帯春</u>	
(福) 福島市社会福祉協議会	常務理事	<u>高木 信雄</u>	

(2) 協議会開催状況

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

< 福島市中心市街地活性化協議会 >

回数	開催日時	場所	内容
第8回 (略)	(略)	(略)	(略)
第9回 (略)	(略)	(略)	(略)
第10回 (略)	(略)	(略)	(略)
第11回 (略)	(略)	(略)	(略)
第12回 (略)	(略)	(略)	(略)
第13回 (略)	(略)	(略)	(略)
第14回 (略)	(略)	(略)	(略)
第15回 (略)	(略)	(略)	(略)
<u>新規追加</u>			
<u>新規追加</u>			
<u>新規追加</u>			

			<u>福島駅前通りリニューアル整備事業の現状について</u> <u>福島市立地適正化計画の策定状況について</u> <u>暮らしにぎわい再生事業「早稲町地区」の進捗状況について</u> <u>地域商業活性化関連予算について</u>
--	--	--	--

<福島市中心市街地活性化協議会 運営会議>

回数	開催日時	場所	内容
第14回 (略)	(略)	(略)	(略)
第15回 (略)	(略)	(略)	(略)
第16回 (略)	(略)	(略)	(略)
第17回 (略)	(略)	(略)	(略)
第18回 (略)	(略)	(略)	(略)
第19回 (略)	(略)	(略)	(略)
第20回 (略)	(略)	(略)	(略)
第21回	平成27年4月17日	チェンバおおまち 3階会議室	<u>〔報告〕</u> <u>第2期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について</u> <u>〔議題〕</u> <u>第1期基本計画の最終フォローアップについて</u> <u>福島市中心市街地活性化協議会会長の取り扱いについて</u> <u>次回の福島市中心市街地活性化協議会の開催について</u>
第22回	平成27年5月26日	コラッセふくしま 8階会議室	<u>〔協議事項〕</u> <u>第1期基本計画の最終フォローアップ報告について</u> <u>〔議題〕</u> <u>平成27年度福島市中心市街地活性化協議会の開催について</u> <u>平成26年度事業報告及び収支決算(案)について</u> <u>平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</u> <u>規約の一部改正について</u> <u>委員の改選について</u> <u>役員を選任について</u>
第23回	平成28年11月30日	コラッセふくしま 8階会議室	<u>〔議題〕</u> <u>中心市街地活性化基本計画の変更について</u> <u>変更に伴うスケジュール及び協議会の開催について</u> <u>協議会での話題紹介について</u>

新規追加			
------	--	--	--

<福島市中心市街地活性化協議会 運営会議>

回数	開催日時	場所	内容
第14回 (略)	(略)	(略)	(略)
第15回 (略)	(略)	(略)	(略)
第16回 (略)	(略)	(略)	(略)
第17回 (略)	(略)	(略)	(略)
第18回 (略)	(略)	(略)	(略)
第19回 (略)	(略)	(略)	(略)
第20回 (略)	(略)	(略)	(略)
新規追加			
新規追加			
新規追加			

10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

- [1] (略)
- (1) (略)
- (2) (略)
- [2] (略)
- [3] (略)
- (1) (略)
- (2) (略)
- [4] (略)

11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

- [1] (略)
- [2] (略)
- (1) (略)
- (2) 都市再生整備計画

都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画を策定し、社会資本整備総合交付金を活用した事業を実施している。

地区の名称	福島市中心市街地地区（第2期）
地区の面積	250ha
計画期間	平成27年度～平成30年度
目標	○大目標 ふくしまの個性と魅力を発信する生活都心づくり ・目標1 集客拠点づくりと回遊環境の向上 ・目標2 人が暮らし交流できる生活環境の向上

10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

- [1] (略)
- (1) (略)
- (2) (略)
- [2] (略)
- [3] (略)
- (1) (略)
- (2) (略)
- [4] (略)

11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

- [1] (略)
- [2] (略)
- (1) (略)
- (2) 都市再生整備計画

都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画を策定し、社会資本整備総合交付金を活用した事業を実施している。

地区の名称	福島市中心市街地地区（第2期）
地区の面積	250ha
計画期間	平成27年度～平成31年度
目標	○大目標 ふくしまの個性と魅力を発信する生活都心づくり ・目標1 集客拠点づくりと回遊環境の向上 ・目標2 人が暮らし交流できる生活環境の向上

